

領域：	パブリック		
テーマ：	サステナブルな社会づくり		
担当者名：	島本 憲一		
開講時期：	後期：金曜 4・5・6限	募集定員：	25名
内容：	サステナブルな社会づくりというフレームの中で、調査・研究・企画を行うテーマをグループで自由に設定し、それについて、フレキシブルにサポートする。 また、同フレームに関連する重要なトピックと調査・研究・企画を進める際の課題・留意点・方法についてディスカッション等をベースにサポートを行う。		
到達目標：	<p>(1) 科目における到達目標</p> <p>2年生：主に企画の効率的な進め方、問題意識の醸成</p> <p>3年生：主に学習成果の応用力</p> <p>4年生：主に社会人としての取り組み方</p> <p>(2) カリキュラム・マップにおける到達目標</p> <p>A 経済学分野の知識を学び、経済的視点から課題解決を行う方法を身に付ける</p> <p>B 経営学分野の知識を学び、経営的視点から課題解決を行う方法を身に付ける</p> <p>D 公共政策に関わる知識を学ぶ</p> <p>E コミュニケーション力、コラボレーション力、プレゼンテーション力を身につける</p> <p>F ロジカルシンキング、クリティカルシンキング、を身につけ問題解決力を養う</p> <p>H 国際人に求められる幅広い教養・知識・IT活用力を身につける</p> <p>I 事業継承を行うために必要な素養、知識を学ぶ</p> <p>(3) この授業で習得・向上できる社会で役立つ能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自律的に思考し行動する力 ・論理的に思考する力 <p>これ以外に、新しい発想や独自の企画を創造する力や情報を整理・分析する中で問題発見・解決する能力等も促進する。</p>		
講義方法：	基本的にはプロジェクト形式。チームでの研究が主体。 ディスカッション、個人ワークやチーム研究におけるフィードバックを行う。		
準備学習：	授業の内容やグループでの調査・研究・企画内容について、2時間を目安に予復習することを心がけてください。		
成績評価：	プレゼンテーションとプロジェクトの進め方等を総合的に勘案して評価。 目安は、プレゼンテーションが60%、進め方（取り組み）が40%。 なお、出席が3分の2以上必要。		
欠席基準：	出席が3分の2以上必要。		
講義構成：	サステナブルな社会づくりについて、基本的に、以下の講義構成となる。 1.テーマの設定（1-3週）、2.情報収集（4-5週）、3.企画の作成（6-13週）、4.プレゼンテーション（14-15週）		
履修条件：	特定になし。		
推奨科目：	特になし。「公共政策の実践Ⅲ」との関連性あり。		
選考方法：	抽選		
備考：	自らの力で自身の関心事を追求できる人材が望ましい。		
説明会：	特になし。		